

# つなぐ

第4号

2017年2月1日発行  
鳥取県境港市議会

平成28年12月定例会 補正予算	—————	P 2
常任委員会視察報告	—————	P 3
議決結果	—————	P 3
一般質問	—————	P 4
高校生と議員の懇談会	—————	P18

# 平成28年 12月定例会 補正予算

12月定例議会は、12月1日から20日までの20日間の会期で開かれ、人事2議案、平成28年度一般会計補正予算、特別会計補正予算など予算関連4議案、下水道条例の一部改正など条例7議案、まちづくり総合プラン基本構想の策定についてなど議決案件6議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。その他、陳情1件、委員会提出議案1件、議員提出議案3件が提出され、審議の結果すべて採択されました。

議決結果は3ページに掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。



(倉吉市の被災の様子)

## 被災者住宅再建支援金等交付事業

鳥取県中部地震により境港市内で  
住宅に被害を受けた人への支援金

**220万円**



©水木プロ

## ふるさと納税PR事業

ふるさと納税寄附額の増加に伴い  
寄附者へのプレゼント費用を増額

**7,471万円**



## 水木しげるロード リニューアル事業

水木しげるロードの道路整備など工事費

**4億2,800万円**



## 住宅用太陽光発電システム 普及促進事業補助金

太陽光発電システム設置補助金

申請件数の増加

**500万円**

## 常任委員会 行政視察報告

各常任委員会では、次の日程・内容で視察に行きました。視察の報告書については、市議会ホームページで閲覧できます。

### 【経済厚生常任委員会】 視察日 平成28年11月7日～9日

#### ○視察先と内容

- ・群馬県高崎市 「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」  
「高崎市住環境改善助成事業」
- ・群馬県前橋市 「耕作放棄地を再生利用した6次産業化の取り組み」
- ・埼玉県熊谷市 「子育て応援プロジェクト」
- ・埼玉県本庄市 「子育て応援モバイルサイト」
- ・東京都北区 「介護と医療の連携による在宅医療支援体制」

### 【総務民教常任委員会】 視察日 平成28年11月14日～16日

#### ○視察先と内容

- ・佐賀県嬉野市 「定住促進策、空き家対策事業」
- ・大分県豊後高田市 「豊後高田市学びの21世紀塾事業」
- ・大分県日田市 「小中学校連携教育」

## 平成28年12月定例会 議決結果

### ◆人 事

案 件	議決結果
監査委員の選任について	同 意 (全会一致)
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意 (全会一致)

### ◆議 案

案 件	議決結果
平成28年度境港市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市下水道事業費特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市介護保険費特別会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市公共下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
市道の路線の認定について	原案可決 (全会一致)
新たに生じた土地の確認について	原案可決 (全会一致)
町の区域の変更について	原案可決 (全会一致)
境港市まちづくり総合プラン (第9次境港市総合計画) 基本構想の策定について	原案可決 (賛成多数)
指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
財産の交換について	原案可決 (全会一致)
境港市職員の勤務時間、休憩時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)

### ◆陳 情

案 件	議決結果
鳥取県西部地区に問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める陳情	採択 意見書提出 (全会一致)

### ◆委員会提出議案

案 件	議決結果
問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

### ◆議員提出議案

案 件	議決結果
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

また、11月臨時議会において、一般会計等の決算認定に関する議案9件が認定され、工事請負契約の締結についての議案1件が原案どおり可決されました。

# 市政を問う

13人が一般質問を行いました。

## 【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員につき最大1ページとしています。

しかし、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」では会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの場合は、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ		質問事項	質問議員
5・6	代表質問	①地方創生に向けた取り組みについて ②市政の諸課題について	森岡 俊夫
6	関連質問	①教育施設について	柊 康弘
7	関連質問	①若者支援策について ②出生率向上策について	浜田 佳尚
8	関連質問	①一般住宅耐震改修の促進について ②介護保険制度の見直しに係る要支援サービス事業の今後について	景山 憲
9	各個質問	①TPP（環太平洋連携協定）批准がもたらす影響について ②原子力防災について	安田 共子
10	各個質問	①医療的ケア児の支援について ②地域包括ケアシステム体制の構築について	田口 俊介
11	各個質問	①市民交流センターの新築事業について ②新型空中給油機KC-46A配備への反対について	定岡 敏行
12	各個質問	①農商工振興連携伯州綿事業の今後の取り組みについて ②学校給食センター調理業務委託について	永井 章
13	各個質問	①小中学生の学びの場について ②主権者教育の充実について	松本 熙
14	各個質問	①国民健康保険と医療費適正化について ②本市の教育について	足田 法行
15	各個質問	①「まちづくり・ひとづくり」の中核をなす市民図書館のあり方について ②市職員の働き方とワーク・ライフ・バランスについて	佐名木知信
16	各個質問	①境港市の都市計画について ②水木しげるロードの今後の展開について	荒井 秀行
17	各個質問	①小中学校再編と学校の将来計画について ②在宅医療・介護の連携について	築谷 敏雄

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

# 冷凍冷蔵庫対策 労働力対策を！

市長

## 老朽化・フロン対策 労働力確保対策を検討

【森岡】魚を貯蔵する冷凍冷蔵庫の老朽化と特定フロンガスの問題は本市水産業の重要な課題。本市の取り組みは。



会派 きょうどう  
森岡 俊夫 議員

【市長】市内企業の労働力不足は、顕著である。10代から20代の若者の都市部への流出が多く、県内企業への就職の割合も低い。新卒者やJ・Uターン希望者へは圏域・ハローワ



境港市を支える水産業

又対策は、業界も危機感を持っている。関係者とともに解決に向けて検討していきたい。

【森岡】水産業をはじめ関連産業の労働力不足の実態をどう考えるか。

【市長】高度衛生管理型漁港は、さかなのブランド化のためのインフラ整備。「安心・安全」というブランドを手に入れるには、業界の国際認証取得はもとより、保管施設の維持や労働力の確保対策は本市の喫緊の課題。万全な対応を望む。

# まちづくりの中核を担う 図書館機能を

教育長

## 若者・ビジネス支援 公文書管理の充実をはかる

【森岡】まちづくりの中核を担うのが図書館の役割。新しく市民交流センター（仮称）に設置される図書館には鳥取県立図書館のように若者支援、ビジネス支援、託児所サービスなどの新たな機能を取り入れてみては。

【教育長】若者支援・ビジネス支援は重要な部門であると考え

ており、新施設には、コーナーを設けて充実をはかりたい。託児所サービスについては、スペースや人的配置の問題はあるが、今後研究していきたい。

【森岡】境港市民図書館は最低最悪との酷評も受けている。この度の新施設には、中小企業や新規起業家、農家や学校の先生などを応援

するビジネス支援、若者の就職支援のほか歴史的資料を管理する公文書管理機能も必要と思うが所見は。

【教育長】郷土資料や歴史的資料は、永久保存となっているが、現在収蔵庫がない状態であり、新施設には収蔵庫を整備し、公文書の適正管理に努める。



境港市民交流センター（仮称）  
※プレゼンテーション時のイメージ図

# 地域包括ケアの中心は 済生会病院！

市長

## 済生会病院再構築は 本市の重要な課題

【森岡】ひとり暮らしの高齢者や障がい者が増える傾向にある中で、より実効性のある地域包括支援サービスを提供するためには市内を細分化して対応すべきでは。

【市長】支援センターの運営体制は専門職の安定確保や業務の効率化という観点から直営一本化した。

市役所にあることで相談しやすく、ワンストップで手続きできるなど迅速なサービスが提供できている。

【森岡】地域包括ケアの中心は済生会病院である。将来にわたっての済生会病院の位置づけはとても重要で、再構築は本市の取り組みむべき課題と考えるが。

【市長】以前、市民



鳥取県済生会境港総合病院

のための総合病院という位置づけで建て替えも含めた計画があったが、医師不足などの状況もあり、延期してもらった経過がある。今後も市も一緒になって検討していくべき大きな課題と考えている。

【森岡】鳥取県の関与が必要。申し入れすべき。

【市長】しっかりと求めていく考えだ。

# 教育施設・学校 トイレの洋式化は？

教育長

## 洋式トイレの整備に 努めていきたい

【柘】現在の学校トイレの洋式化率は。【教育長】校舎の大規模改修などにあわせて洋式化を進めており現在の洋式化率は小学校39%、中学校67%、小中全体で



48%であり全国・県平均とも上回っているほか各階に最低1カ所の洋式トイレを設置しているが、今後も校舎の改修などにあわせて洋式トイレの整備に努めていきたい。

【柘】学校ごとの洋式化率を見ると非常に低い数値の学校が小中1校ずつあるがどう考えているか。

【教育長】洋式化率の低い学校とは、誠道小と境三中の話だ



境二中のトイレ

と思うが、境三中については国の補助事業を使って大規模改修とあわせて平成31年度に改修を行いたい。誠道小については来年度の校区審議会からの最終答申の方向性を踏まえることが必要。誠道小の今年度の児童数は57人で1つの便器が何人の児童に割り当てるかで考えると他校より条件は良くない。

# 「一般不妊治療」への助成を！

市長

## 来年度からの助成実施に向け検討したい



【浜田】2015年の人口動態統計で、鳥取県の合計特殊出生率は前年から大きく増えて全国4位であった。不妊治療の

助成制度や第3子以降の保育料無償化など子育てへの経済的支援を拡充させた効果だと考えられる。境港市では「特定不妊治療」または「人工授精による不妊治療」を受けているご夫婦への助成を行っているが、さらなる出生率向上のための施策として「特定不妊治療」だけではなく、保険適用の「一般不妊治療」への助成も行ってはどうか。



実現すれば保険適用の「一般不妊治療」への助成は県内初

【市長】来年度からの助成実施に向け検討したい。

【浜田】県内の他自治体でも実施されていない状況であるからこそ境港市がリーダーとなり制度の拡充を進めてほしい。また、国が「男性不妊治療」への助成を始めたところである。今後「男性不妊治療」についても市で行うことを検討してほしい。

# 若い世代の率直な意見を聴ける場を

市長

## 来年度にはそのような会を開く方向で検討

【浜田】若い世代への支援策で重要なのがその世代の意見を聴くことである。しかし、政治に馴染み・関心の薄い若い世代から意見・本音を聴くことは意外と難しい。また本市では、その機会も少ない。議会では、10月に市内の高校生との懇談会を初開催した。鳥根大学の学生

に進行役として協力してもらい、ワールドカフェ方式で会を進めることで、和やかな雰囲気の中で境港市や政治に対する若者の率直な意見を聴くことができた。市としても若い世代の率直な意見が聴ける場を設けてはどうか。



カフェのようにリラックスした雰囲気の中、小グループごとに話し合うワールドカフェ方式

【市長】正直、若い世代の意見を聴く機会は少ないと思う。個々の案件について意見を聴くだけでなく、市政全般について若い方がどのような思いを持っているのか把握しなければならぬと思う。来年度にはそのような会を開く方向で検討したい。

# 住宅の耐震化改修の促進を

市長

## 来年度に向け耐震補助制度の拡充策を検討中

【景山】先の熊本地震と鳥取県中部地震では、一般住居に大きな被害が出た。各地で地震が続くことから、住居を守り、



被害を少なくすることへの「備え」対策の一層の充実が必要である。昭和56年以降の建物も対象とするなど耐震診断促進事業実施要綱などを見直し耐震改修を促進することが必要と考えるが見解は。

【市長】本年度の無料耐震診断は20件と増加しているが、耐震改修工事に着手される方は少ない状況である。理由として、自己負担が最低でも工事費の6割程度と、経済的な負担が大きいことなどが原因であると考えている。現在、来年度に向けて、耐震補助制度の拡充策を検討している。具体的には、対象住宅を昭和56年5月以前の建築から平成12年5月以前までに拡大すること、補助工事の補助率を引き上げることなどを考えている。



鳥取県中部地震後の空撮写真（鳥取県提供）

# 多様な担い手による低質なサービス提供を

市長

## シルバー人材センターによる家事援助を予定

【景山】介護保険制度の見直しにより、来年4月から要介護度の低い方、要支援者に向けての「訪問介護」「通所介護」が市町村事業として実施されることになる。住民主体の多様な担い手によるさまざまなサービスの提供と低廉な利用料の設定の考え方、見込

みなどについてうかがう。  
【市長】平成29年度から多様な担い手によるサービスを提供していく予定である。住民主体のサービスとして、シルバー人材センターによる室内清掃や洗濯といった家事援助サービスを予定して

いる。単価設定としては、シルバー人材センターの利用料金をふまえ、現行の訪問型サービスより低廉な価格設定にする予定であり、利用料は、原則サービス単価の1割相当額の負担をもらう予定としている。



中野町のふれあいの家の様子



# TPP参加は不安 離脱を考えては？

市長

国民の理解を得て  
進めるべき



日本共産党境港市議団  
安田 共子 議員



TPP参加で農水産業への影響は

【安田】 TPP参加で本市への影響と、それへの対策は。【市長】 主要農作物の白ネギへ直接影響は限定的。合板、水産物で生産額減少。ズワイガニは試算から除外されており影

響額は不明。競争力強化対策予算で漁船の建造や高度衛生管理型市場の整備に取り組んでいく。【産業部長】 TPPの影響を詳細に把握すること、国民への説明、競争力強化策を国へ要望している。ズワイガニを試算に入れたとは聞いていないが、要望は続ける。【安田】 地産地消の

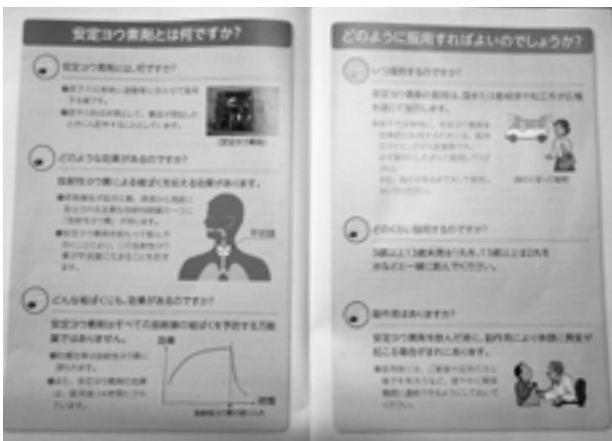
推進、魚食の普及などの努力も他国との交渉で制限される懸念がある。要望したが叶わなかったでは済まない。TPP離脱を考えるべきでは。【市長】 国民の不安を払拭して先に進め、影響にはどれだけ手当をしていけるか、考えていくべき。【安田】 反対を表明している首長もいる。危機感をもってのぞんでほしい。

【安田】 原子力防災避難計画の課題は。【市長】 段階的避難の周知、避難手段の確保、避難行動要支援者の避難などの課題解決に向け取り組んでいきたい。【安田】 島根県で安定ヨウ素剤事前配布を実施。鳥取県内での検討は。【市長】 今年度、県と市で防災と医療の担当者が合同で協

## 原子力防災計画について

市長

課題解決に向け  
取り組んでいきたい



放射性ヨウ素の被ばくを抑える安定ヨウ素剤  
事前配布パンフレット（島根県）

議。基本的に一時集結所で配布の方針。事前配布は引き続き協議する。【安田】 安定ヨウ素剤の副作用や誤飲への島根県での対策は。【防災監】 説明会で説明をした上で配布をしている。【安田】 広域避難について市内自治会と受け入れ先との協議は進んでいるか。

【防災監】 受け入れ先の耐震の問題や収容人数の変更のため、現在検討中。【安田】 原子力防災計画はまだ不十分。現段階での原発再稼働はありえないのでは。【市長】 原子力規制委員会による新基準適合審査の結果を見て判断することになると思う。

# 「医療的ケア児」に対する支援を

市長

## 関係機関による連携で支援につなげる

【市長】現在、私立保育園3園に看護師資格を持つ人が配置されており、保育を希望する児童について

に情報が提供されるシステムになっており、必要に応じて関係機関などによるケース会議などを通じて、支援につなげている。

【田口】医療的ケア児の保育については保育現場への看護師の配置が必要だが、本市で希望がある場合の対応は。

【市長】現在、私立保育園3園に看護師資格を持つ人が配置されており、保育を希望する児童について

【田口】市内の医療的ケア児の実態は。【市長】現在、在宅で医療的ケアを必要とする未就学児童は少ないが、従来から医療機関から保健師



市内の保育園では医療的ケア児も受入れ対応

# 総合事業実施の受け皿と体制は

市長

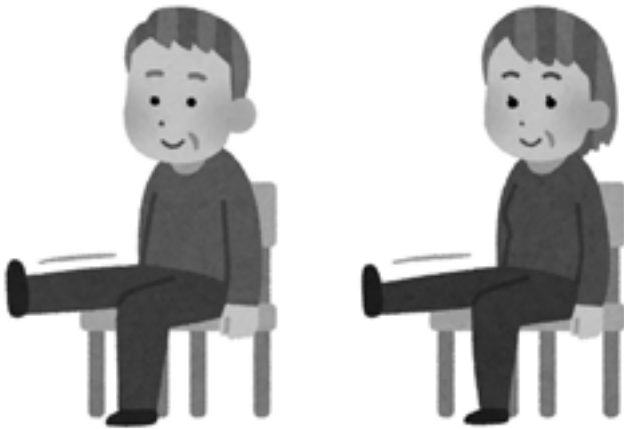
## 多様な担い手によるサービス開始を予定

【市長】本年4月から介護サービス事業所による訪問型・通所型サービスを行的しているが、これに加え平成29年度からは訪問型サービスとして家事援助サービスをシルバー人材セン

【田口】来年度の移行が迫っている本市の介護予防・日常生活支援総合事業の内容と事業実施のための受け皿と体制についてうかがう。

ターに、通所型サービスについては介護予防を目的とした機器を使用したトレーニングやストレッチ体操をこうほうえんや市社協に委託実施する予定。また生活支援は総合事業対象者に限定すべきでないという意見から、自治会などに協力い

ただく方向で協議している。【田口】市民ボランティア主体の事業では現金決済だと支援をする側・される側どちらも抵抗感があるのでは。ボランティアポイントの導入を検討しては。【福祉保健部長】合わせて検討したい。



介護予防で健康寿命延伸を！

# 堅牢でメンテナンス しやすいものに

教育長

必要以上に  
過大なものにしない



日本共産党境港市議団  
定岡 敏行 議員

【定岡】大きな庇、  
総ガラス張りという  
境港市民交流セン  
ター（仮称）の建設  
案が出たが、地球温  
暖化でスーパー台風  
も心配される中、大

丈夫か。より安全側  
に配慮した構造が必  
要ではないか。審査  
の中でどう議論され  
ているか。  
【教育長】これから  
の作業だが、私たち  
も心配している部分  
で、今後、十分検討  
したい。  
【定岡】適切にコン  
クリート壁面を取り  
入れた方が、建設費  
も維持管理費も安く  
なるのではないか。  
議会としても、堅牢  
でメンテナンスのし

やすいものを要望し  
てきたが、建設費、  
維持管理費について  
どのような比較検討  
がなされたか。  
【教育長】建設費に  
ついては44億円程度  
とし、省エネ対策や  
環境配慮も求めてい  
る。建設費の積み上  
げや維持管理費の比  
較検討は基本設計の  
中でのことになる  
が、必要以上に過大  
なものにならないよ  
う努めたい。



境港市民交流センター（仮称）  
※プレゼンテーション時のイメージ図

# 新型空中給油機配備に反対を

市長

「防空体制の<sup>まっ</sup>全うを目的に導入」と  
聞いている

【定岡】新型空中給  
油機の騒音につい  
て、「これまでと変  
わらん」と言われて  
も、日ごろから我慢  
している住民からす  
れば「騒音は騒音」  
だし、ジェット燃料  
を満タンにして飛び  
立つ、着陸する……  
そんな訓練、あるい

は実働が毎日のこと  
になり、「事故がおお  
きたら火の海だ」と  
心配するのは当然  
だ。市長の考えは。  
【市長】騒音は軽減  
されるものと考え  
る。通常の航空機と  
同様に、両翼が主な  
燃料搭載場所で、同  
型機のボーイングと  
大きな差はない。  
【定岡】KC-46Aの  
航続距離は9400  
km、約100トンの

燃料と100人の兵  
員を積んでインド洋  
の彼方まで飛べる空  
中給油・輸送機。「専  
守防衛」を超えて、  
昨年強行された安保  
関連法のもと、米軍  
と一体となった海外  
の戦争に自衛隊員を  
派兵する体制整備の  
一環だ。  
【市長】国の防空体  
制を<sup>まっ</sup>全うすることを  
目的として導入する  
ものと聞いている。



新型空中給油機 KC-46A

# 伯州綿事業 将来像についてうかがう

市長

## 本店機能や情報発信拠点を持つことが急務

クシヨップを4回実施し、今後の伯州綿事業のあり方について提言をいただいた。提言によると、伯州綿を守り、新たな商品を創り、戦略をもって売り、体験観光プログラムを提供していくためには本店機能を持った情報発信拠点を持つことが急務とのこと。また、農業公社のあり方については、今後、栽培と原材料供給に専念し、その先の商品開発や加工・販売

については他の方法による事業展開も含めて検討したいと考えてる。  
**【永井】**伯州綿事業の拠点を海とくらしの史料館に置き、将来「道の駅」構想の考えはないか。  
**【産業部長】**来年度も外部アドバイザー招へい事業を活用し、「道の駅」構想についても、伯州綿関係者などとワークショップを通じて可能性を探っていきたいと考える。

**【永井】**伯州綿事業の将来像についてうかがう。  
**【市長】**外部アドバイザーを招いて市内伯州綿関係者とワー



自民クラブ 永井 章 議員



伯州綿栽培の様子

# 給食センター 調理業務委託について

市長

## いろいろな場面に即応した調理員の安定化を

**【永井】**学校給食センター調理業務委託についてうかがう。  
**【市長】**給食センターでは、調理員・栄養士が力を合わせ日々安全・安心でおいしい給食を提供しているが、調理員の突然の休暇や、献立に合わせた調理の手間の違い、学校事業による急な時間変更などに柔軟に即応できる人

員の確保に苦慮している。民間委託へのメリットとして、調理の手に応じて調理員の増員が可能になる。そのほか地産食材を使用する場合においては、下処理作業を円滑に行うための増員配置が迅速に対応できるなど人員確保の安定化が利

点である。調理業務を民間に委託移行した場合、必要な調理員は委託先が確保することになる。民間への再就職を希望される嘱託臨時職員については再雇用ができるように委託業者にお願うすることになると考えている。



学校給食センター

# 将来を担う 小・中学生の学びの場を

市長

## 学び合い、育ち合う 教育体制の構築を進めたい



無所属 松本 熙 議員

【松本】豊後高田市の「学びの21世紀塾」を視察した。家庭、学校、地域をつなぐ地域連携がうまく作



「学びの21世紀塾」の様子  
(豊後高田市提供)

動し、15年も息づいていると実感した。本市も至急検討し、実現の方向を示すよう強く要望する。

【市長】学校の週5日制にとめない豊後高田市は「学びの21世紀塾」を開設され、数多くの講座を子どもに提供されており、その取り組みは本市にも大変参考になると認識している。

本市でも新たな学習の場として、8月より小学校5・6年生を対象に英語土曜学習、「境港市うきうきイングリッシュ」を月1回開催している。また、毎週土曜日に学習支援事業として小学校3・4年生に学習会を行っている。

今後、境港市の学校ではコミュニケーションスキル等の導入や学校と地域の連携・協働を深め、子どもも大人も学び合い、育ち合う教育体制の構築を進めたいと考えている。

# 中・高校生の 主権者教育の充実を

教育長

## 権利を持つ者はその責任を 果たす教えが重要

【松本】7月の市長選挙の投票率は、18歳が36%、19歳が21%。市議補選もほぼ同様。今後の課題は、中高生ともに可能な形で主権者教育の充実が必要と考える。

文科省は、高校生が国家・社会の形成に主体的に参加して

いくことが、より一層期待されると通知を出した。選挙ではいろいろな候補者がいる。主張をしつかり見極め、投票権を行使するところまで、教え込む必要があると考える。

【教育長】単に権利が与えられ、獲得できただけでなく、権利を持つ者はその責任を果たすと教えていくことが、主権者教育としての重要なポイントだと思う。単に政治の仕組みについて必要な知識の習得のみならず、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働して社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の一員として、主体的に担う力を育むことが主権者教育と考える。



初の「高校生と議員の懇談会」の様子

# 市民の健康意識向上について問う

福祉保健  
部長

一体的な健康意識向上をはかっていく



公明党  
足田 法行 議員

【足田】市民の健康意識向上についての所見は。  
【福祉保健部長】今、市民の健康意識の变革が起こっている

【足田】他の自治体では、通院治療中で、はつかんではない。  
【福祉保健部長】数字はつかんではない。  
【足田】他の自治体では、通院治療中で、はつかんではない。



医療費適正化を担う医療施設

特定健康診査の受診を希望されない方に対し、当該年度の診療録をもとに「情報提供書」に転記し、市に提供して、受診者とする取り組みがある。健診受診率が上がり、未受診者対策と特定健康指導が見込めるが、本市で取り組めるか。  
【福祉保健部長】受診しない理由を明らかにし、その対策を考える中で十分検討していきたい。

# 小中学校の学校再編について問う

教育長

学校再編は慎重かつ丁寧に行う

【足田】多くの自治体の学校再編方法は、現状の学校の区割りを残し、小学校区同士、または中学校同士が統廃合をする。一方、少数の自



地域とともにある教育施設

治体が計画にもとづいて区割・学校再配置をし、校区を自治会単位での入れ替えと学校の適正配置で再編する方法があるが、実現までは難しく、校区割・学校再配置の実施計画ができないところもあるのが現状だが、この2つの学校再編方法の見解は。  
【教育長】区割りを残す方法は比較的

地域の理解を得やすいと考える。一方、新たな校区の再編は、地域の理解を得るのは簡単ではない。校区という「コミュニティ」を分断する方法は、再編後の子どもたちに心理的影響を与えることも考えられるので、児童生徒や保護者の理解を得られるよう慎重かつ丁寧の説明を行う必要がある。

# 図書館を まち・ひとづくりの中核に

市長

まちづくりの拠点となる  
施設を目指す



境港市民図書館

【佐名木】図書館づくりには、早くから市民の声を集め、方向性を確かめながら進める方法が理想である。新図書館整備に向かう際の政策形成のプロセスや取り組み姿勢をうかがう。



自民クラブ  
佐名木 知信 議員

【市長】多くの皆様との意見交換を重ねながら進めるとともに、乳幼児から高齢者まで幅広い人たちの交流の場となるよう、また、仕事や暮らしに役立つまちづくりの拠点となる施設を目指す。

【教育長】本市の特色である水産業に関する書籍やビジネス支援に関する資料は、いっそう充実させたい。

【佐名木】図書館長や司書の正職員化への考えをうかがう。

【教育長】地域の課題解決など、今、図書館が求められる機能をグレードアップするためにも、今後の職員体制は検討したい。

# ワーク・ライフ・バランスの 推進を

市長

実現に向けた  
職場環境づくりを推進する

【佐名木】管理職員が、休日を返上し勤務している姿をよく見かける。約1年前、管理職員が深夜、職場で倒れ、亡くなられた事例もふまえ、検証と改善策は、

【市長】業務が重なり集中する時は、他



市立保育園での保育士と園児たち

課とも協力し業務量をならすなど、職場全体で業務を遂行する。

【佐名木】水産部門の強化策として、県水産事務所、境港水産振興協会、市の水産課が一つの組織となり、円滑に水産振興施策に取り組める体制づくりを。

【市長】渡漁港の管理や観光・雇用・企業誘致などの連携も多いことから、現

在の場所で県・水産振興協会・水産試験場との連携をはかりながら水産振興施策を進める。

【佐名木】「保育士するなら境港」と言われるような保育士が安心して働くことができる体制づくりが大切ではないか。

【市長】圏域全体に人材不足であり、保育士の働く環境を整えることが、重要であると考える。

# 渡余子停車場線の整備計画は？

建設部長

今年度、県の交通量調査が実施された

【建設部長】 渡余子停車場線とJR境線の立体交差は、以前から計画されていたが、昭和56年にいったん中断になり、平成27年の改定にあがっていなかったのは、27年度から再度、県に要望し、今年度、県の交通量調査が実施された。

【荒井】 竹内西緑地は、境港管理組合が管理をしているが、クルーズ船や平成31年に開催するヨット・レーザー級世界選手権のお客さんの玄関口になるため整備が必要ではないか。

【市長】 管理組合からは、整備する予定はないと聞いているが、景観に配慮した緑地の適切な維持管理について働きかけていきたい。

【荒井】 昨年、米子境港都市計画区域の都市計画区域マスタープランの見直しがあった。港湾の整備計画はあるが、それにもなう道路の



自民クラブ 荒井 秀行 議員



葭津和田町線（米子市の都市計画道路）

# 水木ロードリニューアル事業の今後は

市長

平成30年7月夏休みまでの完成を目指す

【荒井】 水木しげるロードリニューアル事業に12月議会で4億2800万円の補正予算が計上してあるが、工費は総額いくらか。

【建設部長】 工費費は約7億5千万円、夜の照明が約2億円、設計費などをいれておおむね10億円程度の事業費になっている。

【荒井】 今後の工事の進め方についてうかがう。

夏休みまでの完成を目指す。

【荒井】 沿道（個店）部分の整備状況と市の支援策はどうか。

【市長】 3団体から発意があり、市では、国の補助事業である街なみ環境整備事業を活用し、ルール作成などの街づくりに関する活動や、今後、作成されたルールに従って行われる店舗などの外観改修に対して、必要な支援を行っていく。



水木しげるロード商店街



# 中間答申における市長の所見は

市長

将来の教育に重要な方向性を示してもらった



自民クラブ 築谷 敏雄 議員

【築谷】校区審議会  
の中間答申について、市長の所見をうかがう。  
【市長】将来の教育のあり方について、重要な方向性を示してもらったと感じて



市内中学校

いる。  
小中一貫校の開設や、学校編成の変更などは大きな改革である。この中間答申の内容をもとに、子どもたちにとってどのような学校のあり方が望まれるのか、今後も広く市民の皆さんに議論をしてもらい、来年度に最終答申が示されたら関係する部署でプロジェクトチームを立ち上げ、施設整備や教育内容について具

体的なロードマップを作成したい。  
【築谷】一貫校となった場合の既存校舎などの改修と財源の確保はどのように考えるのか。  
【市長】財源の確保は大変重要だ。誠道小のあり方の最終答申をふまえ、財源の問題、他の事業とのバランスや、子どもたちの教育環境を考えたながら検討したい。

# 在宅医療・介護の連携について

市長

地域医療連携室が窓口となり連携を行っている

【築谷】済生会境港総合病院の中核病院としての役割と、地域医療やかかりつけ医との連携についてうかがう。  
【市長】地域医療連携室が窓口となり、入退院の調整、高齢者やその家族への支援など、地域の開業医をはじめとした医



鳥取県済生会境港総合病院

療機関へのつなぎを行なっている。在宅療養中の方に本人や家族、医療機関、介護サービス事業所などの情報共有をするため連携ノートを作成し、急変時にはこのノートを活用し、救急搬送につながるよう、境港消防署とも連携をはかっている。

把握と普及啓発についてうかがう。  
【市長】市内介護サービス事業所と医療機関を合わせた、誰もが使いやすい冊子を作製したい。また、安心手帳については11月末で722冊を配布しており、職員がふれあいの家や自治会に出向き、趣旨を説明し配布するなどの啓発を行っている。

## 「境港ってどう?」「政治ってどう?」

### 『高校生と議員の懇談会』を開催

平成28年10月31日、市内2つの高校（境高校、境港総合技術高校）から15名の高校生に参加していただき『高校生と議員の懇談会』を開催しました。

開催にあたっては、島根大学の毎熊浩一准教授と行政学ゼミ生の皆さんに進行役として協力していただき、ワールドカフェ方式で進行しリラックスした雰囲気の中で境港市や政治に対する率直な意見を聴かせていただきました。



### ご報告

平成28年10月5日、境港市立第二中学校を訪問し、議会だよりの愛称『つなぐ』を命名してくださった黒柳さんに対して市議会から感謝状を贈呈しました。



### あしがき

今年、選挙権が18才まで引き下げられたこともあり、境港市議会でも各議員が若者の政治参加や有権者教育について、質問としてとりあげています。また、若者の率直な意見を聴きたいという思いから、高校生との懇談会にも取り組みました。

議会だより「つなぐ」でも、中学生、高校生にも読みやすいようにと、普段使わない言葉にはルビをふったり、わかりやすい言葉に替えたりと工夫をしています。これからも、市民のみなさんの立場になって読みやすい紙面にしていきたいと思っておりますので、お気軽にご意見、ご感想をお寄せください。

(安田)

#### 【発行責任者】

議長 岡空 研二

#### 【議会だより編集部会】

部会長 浜田 佳尚

築谷 敏雄

足田 法行

安田 共子

